

令和5年第1回臨時会				
				1月25日
	審議件数	可決・採択	否決・不採択	継続
市長提出議案	1	1	0	0
令和5年第1回定例会				
				2月27日～3月29日
	審議件数	可決・採択	否決・不採択	継続
市長提出議案	22	22	0	0
議員提出議案	14	2	11	1
請願	1	0	0	1

みたか議会だより

第330号

令和5年(2023年)4月30日

発行・三鷹市議会 ☎0422(44)0249 〒181-8555 三鷹市野崎一丁目1番1号
三鷹市議会ホームページ <https://www.gikai.city.mitaka.tokyo.jp/>



令和5年3月から運営が開始された「三鷹市休日・夜間 診療所・薬局」

令和5年度予算を可決

一般会計予算は3.7%の増

三鷹市議会は、令和5年第1回臨時会を1月25日に開催し、「令和4年度三鷹市一般会計補正予算（第8号）」の市長提出議案を可決しました。

また、現議員の任期最後の定例会となる令和5年第1回定例会を2月27日から3月29日までの31日間の会期で開催しました。

定例会初日、2日目、3日目の本会議（2月27日、28日、3月1日）では、17人の議員が市政に関する一般質問を行いました（5～7面に一般質問の要旨）。そして、本会議3日目の一般質問終了後、市長から、「三鷹市個人情報保護条例の一部を改正する条例」など19件の議案の提案理由、令和5年度の施政方針及び予算の概要についての説明が行われました。

4日目の本会議（3月6日）では、市長提出議案7件を可決、6件の議案を所管の委員会に付託した後、令和5年度各会計予算議案6件に対する代表質疑を9つの会派が行いました（4、5面に代表質疑の要旨）。予算議案6件については、同日設置の予算審査特別委員会に一括して付託され、審査を行いました（3面に予算審査報告の概要）。

5日目の本会議（3月29日）では、委員会の審査報告の後、「令和5年度三鷹市一般会計予算」などの市長提出議案12件を可決しました。続いて、本定例会は今期最後となるため、4つの特別委員会の委員長が活動経過を報告しました。その後、追加市長提出議案3件を可決するとともに、議員提出議案（意見書）について採決を行い2件を可決、11件を否決して、第1回定例会を閉会しました。

議長交際費の公開

三鷹市議会では、より開かれた議会を目指し、市議会ホームページに議長交際費の支出状況を公開しています。議長交際費とは、議長等が議会を代表して行う

外部の個人又は団体との交際に要する経費を言い、「三鷹市議会議長交際費の支出基準」の規定に基づき支出されます。詳しくは市議会ホームページの「議員報酬・議長交際費・政務活動費」のページをご覧ください。

本号の主な内容

- 2面 ◇可決した議案
- 3面 ◇令和5年度予算審査報告 ◇委員会の活動
- 4面 ◇代表質疑
- 5面 ◇代表質疑 ◇一般質問
- 6、7面 ◇一般質問
- 8面 ◇第1回臨時会・第1回定例会審議結果 ◇本会議及び予算・決算審査特別委員会インターネット配信

議会日誌 令和5年1月～3月

1月	16日	市議会防災訓練
	24日	議会運営委員会、各派代表者会議
	25日	本会議、議会運営委員会
2月	2日	厚生委員会
	3日	全員協議会、各派代表者会議
	7日	三鷹駅前再開発及び市庁舎等調査検討特別委員会
	8日	総務委員会、まちづくり環境委員会
	9日	文教委員会
	21日	議会運営委員会、各派代表者会議
	27日	本会議
	28日	本会議
3月	1日	本会議
	3日	議会運営委員会、各派代表者会議
	6日	本会議、予算審査特別委員会
	7日	総務委員会
	8日	厚生委員会
	9日	まちづくり環境委員会
	10日	文教委員会
	13日	予算審査特別委員会
	14日	予算審査特別委員会
	15日	予算審査特別委員会
	16日	予算審査特別委員会
	17日	予算審査特別委員会
	20日	予算審査特別委員会
	22日	東京外郭環状道路調査対策特別委員会、三鷹駅前再開発及び市庁舎等調査検討特別委員会、調布飛行場周辺利用及び安全対策特別委員会、国立天文台周辺地域まちづくり検討特別委員会
	23日	議会運営委員会、各派代表者会議
	24日	予算審査特別委員会
	27日	本会議、総務委員会、厚生委員会、議会運営委員会
	29日	議会運営委員会

第1回臨時会
可決した
議案

市長提出議案

◆令和4年度三鷹市一般会計補正予算(第8号)

歳入歳出予算の総額に、それぞれ1億4千80万6千円を追加し、総額を79億1千44万5千円とするともに、繰越明許費の補正を行うものです。補正予算の内容は、歳出予算では、衛生費で、伴走型・経済的支援事業費の計上を行うものです。歳入予算では、とうきょうママパパ応援事業補助金の増額を行うものです。

◆三鷹市一般職の職員等の旅費に関する条例の一部を改正する条例

一般職の職員等における国内旅行の日当について、宿泊を要しない場合は支給しないこととし、宿泊を要する場合は、その額を一律3千300円とするよう改めるものです。

◆三鷹市子ども・子育て会議条例の一部を改正する条例

子ども・子育て支援法の一部改正に伴い、引用する条番号を改めるものです。

第1回定例会
可決した
議案

市長提出議案

条例

◆三鷹市個人情報保護条例の一部を改正する条例

三鷹市議会の個人情報の保護に関する条例が制定され、議会における個人情報

の取扱いについて、三鷹市個人情報保護審査会等の市長の附属機関への諮問が規定されたことに伴い、規定を整備するものです。

◆三鷹市印鑑条例の一部を

改正する条例

自動交付機による証明書交付サービスの終了に伴い、規定を整備するものです。

◆三鷹市常勤の特別職職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例

常勤の特別職職員において、宿泊を要しない場合は支給しないこととし、宿泊を要する場合は、その額を一律3千300円とするよう改めるものです。

◆三鷹市一般職の職員等の旅費に関する条例の一部を改正する条例

一般職の職員等における国内旅行の日当について、宿泊を要しない場合は支給しないこととし、宿泊を要する場合は、その額を一律2千200円とするともに、勤務地から目的地までの経費を上限としていた旅費について、実費額を支給するよう改めるものです。

◆三鷹市手数料条例の一部を改正する条例

建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律等の一部改正を踏まえ、低炭素建築物新築等計画の認定、建築物エネルギー消費性能向上計画の認定等の申請について、共同住宅等の住戸単位での認定制度が廃止されたことに伴い、当該申請に係る手数料を廃止するとともに、認定における簡易な評価方法の新設に伴い、当該申請に係る手数料を定めるほか、規定を整備するものです。また、自動交付機による証明書交付サービスの終了に伴い、規定を整備するとともに、令和

5年6月1日から令和7年3月31日までの間、コンビニ交付により住民票の写し等の証明書を交付する場合の手料を100円引き下げる特例措置を設けるものです。

◆三鷹市子ども・子育て会議条例の一部を改正する条例

子ども・子育て支援法の一部改正に伴い、引用する条番号を改めるものです。

◆三鷹市義務教育就学児の医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例

義務教育就学児及び高校生等の医療費助成について、通院1回につき200円の一部負担金を撤廃するものです。

◆三鷹市国民健康保険条例の一部を改正する条例

国民健康保険税の減額として、低所得者世帯に対する保険税均等割額の軽減について、5割減額の軽減基準額については、同じく52万円から53万5千円に引き上げるものです。また、出産育児一時金を42万円から50万円に引き上げるものです。

◆三鷹市防災会議条例の一部を改正する条例

関係機関の多様な意見を広く取り入れるとともに、平時からの連携体制を強化し地域の防災力の向上を図るため、委員の総数を35人

以内から40人以内に拡充するものです。

◆三鷹市職員の公益的法人等への派遣等に関する条例の一部を改正する条例

職員を派遣することができる団体に、令和5年3月1日に設立された特定非営利活動法人M i t a k a みんなの防災を追加するものです。

◆三鷹市市税条例の一部を改正する条例

令和5年度の税制改正による地方税法等の一部改正に伴い、関係規定の整備を図るものです。固定資産税については、長寿命化に資する大規模修繕工事を行ったマンションに係る固定資産税額の減額措置を創設し、建物に係る固定資産税額の減額の特例割合を3分の1とするとともに、軽自動車税については、種別割のグリーン化特例の適用期限を3年又は2年延長するものです。

◆令和5年度三鷹市一般会計予算

◆令和5年度三鷹市国民健康保険事業特別会計予算

◆令和5年度三鷹市介護サービス事業特別会計予算

◆令和5年度三鷹市介護保険事業特別会計予算

◆令和5年度三鷹市下水道事業会計予算

◆令和5年度三鷹市後期高齢者医療特別会計予算

◆令和5年度三鷹市介護保険事業会計予算

◆令和5年度三鷹市後期高齢者医療特別会計予算

◆令和5年度三鷹市下水道事業会計予算

◆令和5年度三鷹市後期高齢者医療特別会計予算

◆令和5年度三鷹市下水道事業会計予算

当初予算

補正予算

◆令和4年度三鷹市一般会計補正予算(第9号)

歳入歳出予算の総額に、それぞれ17億9千21万4千円を追加し、総額を87億1千15万9千円とするともに、繰越明許費及び債務負担行為の補正を行うものです。主な内容は、歳出予算では、財政調整基金積立金の増額、まちづくり施設整備基金積立金の増額、健康福祉基金積立金の増額、ふじみ衛生組合関係費の減額、国立天文台連携まちづくり事業費の増額等を行うものです。

◆令和4年度三鷹市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

歳入歳出予算の総額に、それぞれ8千402万5千円を追加し、総額を48億3千342万7千円とするもので、東京都後期高齢者医療広域連合の補正予算に合わせた増額を行うものです。この特別会計では、歳入の保険料を財源として、東京都後期高齢者医療広域連合へ保険料負担金を支出しており、歳入に合わせた、歳出の増額を行うものです。

◆令和5年度三鷹市一般会計補正予算(第1号)

歳入歳出予算の総額に、それぞれ10億3千131万円を追加し、総額を78億7千440万9千円とするものです。主な内容は、歳出予算では、保育施設等安全対策事業費の計上、妊婦・乳児健康診査等関係費の増額、高齢者等予防接種事業費の増額、新型コロナウイルスワクチン接種事業費の増額、幼稚園安全対策事業費の計上等を行うものです。



園児の置き去り防止の安全装置が設置される幼稚園送迎バス

指定管理者の指定

◆三鷹市福祉Laboどんぐり山の指定管理者の指定について

指定管理者に、社会福祉法人三鷹市社会福祉事業団を指定するものです。

議員提出議案

意見書

◆新型コロナウイルス感染症の後遺症の方々の日常を守る取組の強化を求める意見書

新型コロナウイルス感染症の罹患率の中で、疲労感・倦怠感などの罹患後症状、いわゆる後遺症を訴える方が増えている。実際に、倦怠感、呼吸困難感、集中力の低下、記憶力の低下、睡眠障害など、仕事や学業の継続が困難になる方も多く見られる。後遺症は社会生活上、非常に影響が大きく、例えば、子どもの場合は自分から症状を訴えることが難しいため、怠けていると捉えられてしまうおそれもある。感染拡大から3年が経過し、新型コ

ロナへの向き合い方も変わる中で、後遺症に悩み生活に大きな影響を受けている方々の治療等の確立は重要で、本市議会は、政府に対して、新型コロナウイルス感染症の後遺症の方々に寄り添い、一人一人の日常を守るために、次の事項について積極的な取組を求める。(1)新型コロナウイルス感染症の後遺症の発生状況について、非常に近い症状の筋痛性脳脊髄炎・慢性疲労症候群(ME・CFS)との関連も含めた、実態調査を推進すること。(2)一部医療機関で実施されている、Bスポット療法(EAT・上咽頭擦過療法)等の検証を進めるとともに、療法の標準化により、後遺症に対応できる医療機関や相談窓口を拡充すること。(3)自己免疫疾患との関連など、新型コロナウイルス感染症による後遺症の原因究明と新たな治療法の確立に向けた研究予算を確保すること。◆地域のグリーン・トランスフォーメーション(GX)の促進を求める意見書

気候変動により、世界中で大規模な自然災害が発生するなど、気候変動への対応は今や人類共通の課題となっている。世界的に脱炭素への機運が高まる中、我が国においても2030年度の温室効果ガス46%削減、2050年のカーボンニュートラル実現という目標を掲げている。今こそ、需要サイドにおける徹底した省エネや循環経済の構築とともに、供給サイドにおける再生可能エネルギー等の普及拡大による、地域のグリーン・トランスフォーメーション(GX)が必要である。よって、本市議会は、政府に対し、飛躍的な省エネと革新的な創エネによる地域のGXで、新しい経済成長を実現するために、次の事項に総力を挙げて取り組むことを強く要請する。(1)各家庭の省エネ促進に向けて、関係省庁で連携して、省エネ効果の高い断熱窓への改修など住宅の省エネ化や、太陽光発電と蓄電池を組み合わせた電力の自給自足への支援を強化すること。(2)天候に左右されて出力変動が起きてしまう再生可能エネルギーの特性を補うため、蓄電池の大容量化、低コスト化とともに、余剰電気を水素で蓄えること等を可能とするための研究開発を加速すること。(3)家庭向けのヒートポンプ給湯器や家庭用燃料電池など、また産業向けの産業用ヒートポンプやコージェネレーションなど、熱需要の脱炭素化、熱の有効利用に向けた設備等の導入を促進すること。(4)2030年代後半に想定される太陽光パネルの大量廃棄に備えて、廃棄や再生の施設整備への投資の促進や、太陽光発電施設の維持管理や更新など、再エネによる電力供給量を確保するための制度的措置を検討すること。(5)「系統整備」には莫大な資金が必要となるため、資金調達等が可能な環境整備をすること。さらに、期間短縮や経済合理性や、より効率的な送電システムの整備への技術開発を強化すること。

の普及拡大による、地域のグリーン・トランスフォーメーション(GX)が必要である。よって、本市議会は、政府に対し、飛躍的な省エネと革新的な創エネによる地域のGXで、新しい経済成長を実現するために、次の事項に総力を挙げて取り組むことを強く要請する。(1)各家庭の省エネ促進に向けて、関係省庁で連携して、省エネ効果の高い断熱窓への改修など住宅の省エネ化や、太陽光発電と蓄電池を組み合わせた電力の自給自足への支援を強化すること。(2)天候に左右されて出力変動が起きてしまう再生可能エネルギーの特性を補うため、蓄電池の大容量化、低コスト化とともに、余剰電気を水素で蓄えること等を可能とするための研究開発を加速すること。(3)家庭向けのヒートポンプ給湯器や家庭用燃料電池など、また産業向けの産業用ヒートポンプやコージェネレーションなど、熱需要の脱炭素化、熱の有効利用に向けた設備等の導入を促進すること。(4)2030年代後半に想定される太陽光パネルの大量廃棄に備えて、廃棄や再生の施設整備への投資の促進や、太陽光発電施設の維持管理や更新など、再エネによる電力供給量を確保するための制度的措置を検討すること。(5)「系統整備」には莫大な資金が必要となるため、資金調達等が可能な環境整備をすること。さらに、期間短縮や経済合理性や、より効率的な送電システムの整備への技術開発を強化すること。

令和5年度予算
審査報告の概要

予算審査特別委員会は8日間にわたり集中的に審査を行い、令和5年度一般会計予算ほか5件の議案はいずれも原案のとおり可決すべきものと決定しました。

審査報告（要旨）

『令和5年度の本市予算は、一般会計の当初予算額が78億4千309万9千円と過去最大の規模となり、特別会計と合わせた総計は、1千171億4千83万5千円になった。将来負担も見据え、健全かつ慎重な財政運営に努めるよう望むものである。本委員会は、令和5年度における事業と収支見積り等について、鋭意審査を進めた結果、本予算議案についてはいずれも原案を可決すべきものと決定した。』

委員会は次の附帯意見を付し、それらに配慮した市政の執行を要望しました。

附帯意見

一般会計

〔歳入〕

1 国からの各種補助金については、普通地方交付税の交付・不交付にかかわらず補助するよう、国に対して強く働きかけること。また、東京都市町村総合交付金については、経営努力をしている地方自治体に不利にならないよう、東京都に対して引き続き強く働きかけること。

〔歳出〕

▽総務費

1 「三鷹市基本構想」の改正と「第5次三鷹市基本計画」の策定に当たっては、「市民参加でまちづくり協議会」の政策提案（最終報告）及び住区別ワークシヨップでの意見等、広範な市民意見の集約に努めること。また、反映されなかった意見等についても、丁

寧に市民に説明すること。
2 市庁舎・議場棟等建て替えについては、「ゼロ円庁舎」の実現に向け、具体的な事業手法や方向性、スケジュールについて調査・研究を早急に進め、市民への周知を図ること。
▽土木費
1 国立天文台周辺地域のまちづくりに当たっては、天文台の森という特色を生かすとともに、防災・減災機能の向上、買物環境の整備などについて幅広い市民の意見を聞き、財源については民間活力の活用を視野に入れ、「土地利用基本方針」に基づきスピード感を持って「土地利用基本構想」を策定し、協働のまちづくりを進めること。
2 井口特設グラウンドの利活用に当たっては、近隣住民への丁寧な説明に努めつつ、防災都市づくりの観点と感染症対策を含む多様な課題を踏まえ、地域医療施設等の誘致に努めるとともに、スポーツ環境の確保

委員会の活動

令和5年1月～3月

総務委員会

2月8日

【行政報告】

▼令和5年度組織改正について
▼みたか太陽系ウォークについて

▼市民参加でまちづくり協議会について
3月7日

【議案】

▼令和4年度三鷹市一般会計補正予算（第9号）
▼三鷹市手数料条例の一部を改正する条例
Ⅱ以上2件、原案可決

【行政報告】
▼「第5次三鷹市基本計画策定に向けた市民満足度調査」の調査結果について
▼日本郵便株式会社との包括連携協定の締結について
▼人権基本条例（仮称）の制定に向けた基本的な考え方（案）について
▼市民参加でまちづくり協議会について
▼令和4年度入札制度の見直しについて
3月29日

▼総務委員会審査報告書の確認について

【予算審査特別委員】
◎穴戸 治重○赤松 大一
粕谷 稔 池田 有也
小幡 和仁 高谷真一朗
嶋崎 英治 伊東 光則
石井 良司 大城 美幸
栗原けんじ
◎委員長 ○副委員長
（3月6日選任）

▼令和4年度東京都児童・生徒体力・運動能力、生活・運動習慣等調査結果につ

いて
▼三鷹市立アニメーション美術館の令和5年度開館時間について
▼大沢野川グラウンド復旧工事について
3月10日

【請願】
▼三鷹市立小・中学校におけるマスク着用やワクチン接種について Ⅱ継続審査

【行政報告】
▼令和5年度教育委員会基本方針について
▼令和3年度に発生した三鷹市立小・中学校における体罰等の実態について
▼ふるさと納税を活用した三鷹市立アニメーション美術館の運営支援（令和4年度）について

2月2日
【議員提出議案】
▼三鷹市ヤングケアラー等支援条例 Ⅱ継続審査
3月8日

【議員提出議案】
▼三鷹市ヤングケアラー等支援条例 Ⅱ継続審査
3月8日

【議員提出議案】
▼三鷹市ヤングケアラー等支援条例 Ⅱ継続審査
3月8日

【議員提出議案】
▼三鷹市ヤングケアラー等支援条例 Ⅱ継続審査
3月8日

【議員提出議案】
▼三鷹市ヤングケアラー等支援条例 Ⅱ継続審査
3月8日

【議員提出議案】
▼三鷹市ヤングケアラー等支援条例 Ⅱ継続審査
3月8日

【議員提出議案】
▼三鷹市ヤングケアラー等支援条例 Ⅱ継続審査
3月8日

【議員提出議案】
▼三鷹市ヤングケアラー等支援条例 Ⅱ継続審査
3月8日

【議員提出議案】
▼三鷹市ヤングケアラー等支援条例 Ⅱ継続審査
3月8日

【議員提出議案】
▼三鷹市ヤングケアラー等支援条例 Ⅱ継続審査
3月8日

【行政報告】
▼三鷹市自殺対策計画の改定について
▼「電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金給付事業」について
▼コミュニティ創生基本方針（仮）策定期間の変更について
3月29日
【議員提出議案】
▼三鷹市ヤングケアラー等支援条例 Ⅱ継続審査
▼厚生委員会審査報告書の確認について

2月8日
【行政報告】
▼東八道路沿道における景観ガイドライン（案）について
▼三鷹市交通ネットワーク全体構想（検討案）について
3月9日
【行政報告】
▼令和4年度環境活動表彰について
▼三鷹市地球温暖化対策実行計画（第4期計画）の第1次改定について
▼三鷹むらさき商品券事業について
▼（仮称）まちづくり拠点形成計画（立地適正化計画）について
▼用途地域等の一括変更等について
▼三鷹駅南口ペDESTリアンデッキ長寿命化修繕計画（改定案）について
▼コミュニティ交通実証運行における評価・検証について
▼三鷹市交通ネットワーク全体構想（検討案）について
ほか3件

3月22日
【行政報告】
▼外環事業に係る取組み状況について
▼活動経過報告書の確認について

3月23日
【行政報告】
▼活動経過報告書の確認について

3月23日
【行政報告】
▼活動経過報告書の確認について

3月23日
【行政報告】
▼活動経過報告書の確認について

3月23日
【行政報告】
▼活動経過報告書の確認について

3月23日
【行政報告】
▼活動経過報告書の確認について

3月23日
【行政報告】
▼活動経過報告書の確認について

3月23日
【行政報告】
▼活動経過報告書の確認について

3月23日
【行政報告】
▼活動経過報告書の確認について

3月23日
【行政報告】
▼活動経過報告書の確認について

3月23日
【行政報告】
▼活動経過報告書の確認について

3月23日
【行政報告】
▼活動経過報告書の確認について

3月23日
【行政報告】
▼活動経過報告書の確認について

3月23日
【行政報告】
▼活動経過報告書の確認について

3月23日
【行政報告】
▼活動経過報告書の確認について

3月23日
【行政報告】
▼活動経過報告書の確認について

3月23日
【行政報告】
▼活動経過報告書の確認について

3月23日
【行政報告】
▼活動経過報告書の確認について

3月23日
【行政報告】
▼活動経過報告書の確認について

3月23日
【行政報告】
▼活動経過報告書の確認について

3月23日
【行政報告】
▼活動経過報告書の確認について

3月23日
【行政報告】
▼活動経過報告書の確認について

代表質疑

3月6日の本会議で、各会派の代表者9人が、令和5年度予算について質疑を行いました。要旨は次のとおりです。

地方自治の役割を果たし市民の命と暮らしを守れ



日本共産党
大城 美幸 幹事長

議員 新型コロナウイルス感染症拡大に加え物価高騰が続く中、国や都の支援制度を使えず苦しむ事業者に手を差し伸べ対応すべきだ。

市長 既に保護者負担も含め毎年20億円近く負担している状況において無償化分が市の固定費になってよいのかという問題と、子どもの貧困に関する課題の間で悩ましく感じている。

生活環境部長 業種を問わない給付金事業や中小企業診断士による経営相談窓口設置、支援事業の個別周知等を行ってきた。今後も柔軟かつ機動的に対応する。

議員 100万人以上に対して保健所が1カ所では対応が厳しいことがコロナ禍で明らかになっている。多摩府中保健所管轄下の6市で保健所の機能拡充や増設についての議論はないのか。

市長 コロナが収束に向かい各市が次の事業展開を考える段階で議論したい。現状が厳しいという認識は6市・都と共有している。

議員 新年度、狛江市が第

市長 コロナが収束に向かい各市が次の事業展開を考える段階で議論したい。現状が厳しいという認識は6市・都と共有している。

議員 新年度、狛江市が第

市長 コロナが収束に向かい各市が次の事業展開を考える段階で議論したい。現状が厳しいという認識は6市・都と共有している。

議員 新年度、狛江市が第

市長 コロナが収束に向かい各市が次の事業展開を考える段階で議論したい。現状が厳しいという認識は6市・都と共有している。

議員 新年度、狛江市が第

市長 コロナが収束に向かい各市が次の事業展開を考える段階で議論したい。現状が厳しいという認識は6市・都と共有している。

議員 新年度、狛江市が第

市長 コロナが収束に向かい各市が次の事業展開を考える段階で議論したい。現状が厳しいという認識は6市・都と共有している。

議員 新年度、狛江市が第

市長 コロナが収束に向かい各市が次の事業展開を考える段階で議論したい。現状が厳しいという認識は6市・都と共有している。

議員 新年度、狛江市が第

市長 コロナが収束に向かい各市が次の事業展開を考える段階で議論したい。現状が厳しいという認識は6市・都と共有している。

議員 新年度、狛江市が第

市長 コロナが収束に向かい各市が次の事業展開を考える段階で議論したい。現状が厳しいという認識は6市・都と共有している。

議員 新年度、狛江市が第

市長 コロナが収束に向かい各市が次の事業展開を考える段階で議論したい。現状が厳しいという認識は6市・都と共有している。

議員 新年度、狛江市が第

市長 コロナが収束に向かい各市が次の事業展開を考える段階で議論したい。現状が厳しいという認識は6市・都と共有している。

議員 新年度、狛江市が第

市長 コロナが収束に向かい各市が次の事業展開を考える段階で議論したい。現状が厳しいという認識は6市・都と共有している。

議員 新年度、狛江市が第

市長 コロナが収束に向かい各市が次の事業展開を考える段階で議論したい。現状が厳しいという認識は6市・都と共有している。

の増を見込んでいる。

議員 少子化対策として、学校給食費の無償化や返済を要さない本市独自の奨学金制度など、子育てに希望が持てるような思い切った施策の展開が必要だ。

企画部長 まずは国や都の子ども支援施策の効果や課題を見極めたい。その上で、財源確保の見通しや優先順位を明確にしながら、基礎自治体ならではのきめ細かな施策に取り組みたい。

議員 国の出産・子育て応援事業等において個人番号カード取得へ誘導した例がある。本市は誘導策を考えていないことを確認する。

企画部長 取得は本人の意思に基づくもので、特定の事業の条件とすることは考えていない。

議員 学童保育所指導員における6時間正規労働者が現在存在していない理由と、公共民間団体職員の初任給が本市職員と同様から、8号下位に改悪されている理由を問う。

総務部調整担当部長 前者は学童保育所の勤務時間の見直しの中で雇用がなくなったものの、後者は市が人件費補助金支出基準を見直したことに對する外郭団体等の対応だと認識している。

その他の質問 平和施策／再開発事業／井口特設グラウンドについてなど

アフターコロナを見据えた市政運営に努めよ



令和山桜会
渥美 典尚 幹事長

議員 コロナ禍で融資を受けた事業者の返済が今後本格化する。返済に窮する事業者の支援について問う。

生活環境部長 融資あっせんの要件緩和による信用保証料への補助や利子補給継続とともに商工会に設置する経営相談窓口で状況に応じた情報を提供していく。

議員 災害時の危険度から判断すると、大規模開発の優先順位は三鷹駅前再開発、市庁舎議場棟等の建て替え、国立天文台周辺のまちづくりの順ではないか。

市長 防災・減災をベースにしつつ、都市経営やまちづくりの視点で総合的に順位を判断していく。全ての事業が連動するため進捗に応じ丁寧判断していく。

議員 コロナ禍で融資を受けた事業者の返済が今後本格化する。返済に窮する事業者の支援について問う。

生活環境部長 融資あっせんの要件緩和による信用保証料への補助や利子補給継続とともに商工会に設置する経営相談窓口で状況に応じた情報を提供していく。

議員 災害時の危険度から判断すると、大規模開発の優先順位は三鷹駅前再開発、市庁舎議場棟等の建て替え、国立天文台周辺のまちづくりの順ではないか。

市長 防災・減災をベースにしつつ、都市経営やまちづくりの視点で総合的に順位を判断していく。全ての事業が連動するため進捗に応じ丁寧判断していく。

議員 コロナ禍で融資を受けた事業者の返済が今後本格化する。返済に窮する事業者の支援について問う。

生活環境部長 融資あっせんの要件緩和による信用保証料への補助や利子補給継続とともに商工会に設置する経営相談窓口で状況に応じた情報を提供していく。

議員 災害時の危険度から判断すると、大規模開発の優先順位は三鷹駅前再開発、市庁舎議場棟等の建て替え、国立天文台周辺のまちづくりの順ではないか。

市長 防災・減災をベースにしつつ、都市経営やまちづくりの視点で総合的に順位を判断していく。全ての事業が連動するため進捗に応じ丁寧判断していく。

議員 コロナ禍で融資を受けた事業者の返済が今後本格化する。返済に窮する事業者の支援について問う。

生活環境部長 融資あっせんの要件緩和による信用保証料への補助や利子補給継続とともに商工会に設置する経営相談窓口で状況に応じた情報を提供していく。

議員 災害時の危険度から判断すると、大規模開発の優先順位は三鷹駅前再開発、市庁舎議場棟等の建て替え、国立天文台周辺のまちづくりの順ではないか。

市長 防災・減災をベースにしつつ、都市経営やまちづくりの視点で総合的に順位を判断していく。全ての事業が連動するため進捗に応じ丁寧判断していく。

議員 コロナ禍で融資を受けた事業者の返済が今後本格化する。返済に窮する事業者の支援について問う。

生活環境部長 融資あっせんの要件緩和による信用保証料への補助や利子補給継続とともに商工会に設置する経営相談窓口で状況に応じた情報を提供していく。

議員 災害時の危険度から判断すると、大規模開発の優先順位は三鷹駅前再開発、市庁舎議場棟等の建て替え、国立天文台周辺のまちづくりの順ではないか。

市長 防災・減災をベースにしつつ、都市経営やまちづくりの視点で総合的に順位を判断していく。全ての事業が連動するため進捗に応じ丁寧判断していく。

議員 コロナ禍で融資を受けた事業者の返済が今後本格化する。返済に窮する事業者の支援について問う。

生活環境部長 融資あっせんの要件緩和による信用保証料への補助や利子補給継続とともに商工会に設置する経営相談窓口で状況に応じた情報を提供していく。

議員 災害時の危険度から判断すると、大規模開発の優先順位は三鷹駅前再開発、市庁舎議場棟等の建て替え、国立天文台周辺のまちづくりの順ではないか。

市長 防災・減災をベースにしつつ、都市経営やまちづくりの視点で総合的に順位を判断していく。全ての事業が連動するため進捗に応じ丁寧判断していく。

議員 市は市民税収入や地方消費税交付金の増をもつて「新たな財源の確保」としているが、これまでにない収入源を創出する取り組みが必要ではないか。

市長 定期借地権による井口特設グラウンドの活用など、様々な手法を使って新しい財源を求めていきたい。

その他の質問 今後のマスキング用の方針／シェアサイクル事業についてなど

「量入制出」により健全な財政運営に努めよ



自由民主クラブ
石井 良司 幹事長

議員 多様化、複雑化した時代に、地域の持続可能性や住民自治により公共の質を高めるためには自治体首長のリーダーシップが重要と考える。所見を問う。

市長 職員時代に経験したこととは全く異なる経験をしているところだが、謙虚な姿勢で対応していく。

議員 自治体の財政運営は儒教の「礼記」における「量入制出」の言葉にもあるように、歳入の確保とそれに見合った歳出が基本と考える。所見を問う。

市長 そのとおりである。将来的な財源の見込みを立てつつ、事業規模を示しながら、着実な市政運営に努める。

議員 新型コロナウイルスの影響でこの4年間多くの計画・事業が延期・中止となった。すべての人が暮らしやすい三鷹のまちづくりを

議員 光熱費や食料品の物価高騰による市民生活への影響が続く。市独自の臨機応変な支援策が必要だ。

企画部長 給食費や福祉サ

議員 人権に関する多様な

議員 人権に関する多様な

議員 人権に関する多様な

議員 人権に関する多様な

議員 人権に関する多様な

議員 人権に関する多様な

議員 人権に関する多様な

議員 人権に関する多様な

議員 人権に関する多様な

議員 人権に関する多様な

議員 人権に関する多様な

議員 人権に関する多様な

議員 人権に関する多様な

議員 人権に関する多様な

議員 人権に関する多様な

議員 人権に関する多様な

議員 人権に関する多様な

議員 人権に関する多様な

議員 人権に関する多様な

議員 人権に関する多様な

議員 人権に関する多様な

課題が顕在化する中で誰もが安心して暮らせるまちをつくるには、人権文化を根付かせることが重要だ。人権基本条例（仮称）制定後の取り組みについて問う。

市長 制定プロセスを通じて理解と共感を広げ、制定後も条例の趣旨を踏まえ多様な取り組みを進めたい。

議員 AYA世代のがん患者は、治療しながら社会復帰や日常生活の課題に向き合う必要がある。介護保険が使えるいないこの世代の支援の拡充が求められている。

健康福祉部長 概ね15歳から30代のがん患者には、育児と治療の両立など一人一人のニーズに応じて関係部署が連携し、様々な制度を活用する支援を行いたい。

議員 都は帯状疱疹ワクチン接種費を助成する自治体を補助する旨を発表した。都の補助を活用し、接種費を助成する制度を早急に導入すべきだ。

健康福祉部長 都の補助事業の内容を踏まえ、医師会との調整、ワクチンの調達、市民への周知期間を考慮した上で補正予算の対応を含め適切に考えたい。

その他の質問 ウクライナ避難民の支援／オンラインのまちづくりに向けた再スタートについてなど

議員 学校を核としたコミュニティづくり、学校3部制に向けたモデル事業に大いに期待する。毎日型の地域子どもクラブを、学校の長期休業中も地域で運営するには限界があるが、民間委託により地域の関わりが希薄になることを懸念する。地域と民間とのバランスが重要だ。所見を問う。

子ども政策部長 地域の実施委員会だけでは不足する部分は、民間の力を借りながら、地域の主体性を確保することが重要である。

議員 卒業生の保護者等をうまく取り込めば、民間に頼らず実施委員会でもかなり賄えると考ええる。まずは地域協力者を拡充する方策を模索してはどうか。

市長 学校3部制の第2部を市民に担ってもらいたい考えは同じだが、学校によって実施委員会の事情は様々だ。教育委員会としっかり連携しながら、今後の一定の方向性を考えたい。

議員 三鷹の森学園では、小学生ソフトバレーをしていた子どもたちが、中・高校生になって教えるに来てくれ、大学生になって三中バレー部のコーチをしてくれている。市長部局と教育委

議員 学校を核としたコミュニティづくり、学校3部制に向けたモデル事業に大いに期待する。毎日型の地域子どもクラブを、学校の長期休業中も地域で運営するには限界があるが、民間委託により地域の関わりが希薄になることを懸念する。地域と民間とのバランスが重要だ。所見を問う。

子ども政策部長 地域の実施委員会だけでは不足する部分は、民間の力を借りながら、地域の主体性を確保することが重要である。

議員 卒業生の保護者等をうまく取り込めば、民間に頼らず実施委員会でもかなり賄えると考ええる。まずは地域協力者を拡充する方策を模索してはどうか。

市長 学校3部制の第2部を市民に担ってもらいたい考えは同じだが、学校によって実施委員会の事情は様々だ。教育委員会としっかり連携しながら、今後の一定の方向性を考えたい。

議員 三鷹の森学園では、小学生ソフトバレーをしていた子どもたちが、中・高校生になって教えるに来てくれ、大学生になって三中バレー部のコーチをしてくれている。市長部局と教育委

議員 学校を核としたコミュニティづくり、学校3部制に向けたモデル事業に大いに期待する。毎日型の地域子どもクラブを、学校の長期休業中も地域で運営するには限界があるが、民間委託により地域の関わりが希薄になることを懸念する。地域と民間とのバランスが重要だ。所見を問う。

子ども政策部長 地域の実施委員会だけでは不足する部分は、民間の力を借りながら、地域の主体性を確保することが重要である。

議員 卒業生の保護者等をうまく取り込めば、民間に頼らず実施委員会でもかなり賄えると考ええる。まずは地域協力者を拡充する方策を模索してはどうか。

市長 学校3部制の第2部を市民に担ってもらいたい考えは同じだが、学校によって実施委員会の事情は様々だ。教育委員会としっかり連携しながら、今後の一定の方向性を考えたい。

議員 三鷹の森学園では、小学生ソフトバレーをしていた子どもたちが、中・高校生になって教えるに来てくれ、大学生になって三中バレー部のコーチをしてくれている。市長部局と教育委

議員 学校を核としたコミュニティづくり、学校3部制に向けたモデル事業に大いに期待する。毎日型の地域子どもクラブを、学校の長期休業中も地域で運営するには限界があるが、民間委託により地域の関わりが希薄になることを懸念する。地域と民間とのバランスが重要だ。所見を問う。

子ども政策部長 地域の実施委員会だけでは不足する部分は、民間の力を借りながら、地域の主体性を確保することが重要である。

議員 卒業生の保護者等をうまく取り込めば、民間に頼らず実施委員会でもかなり賄えると考ええる。まずは地域協力者を拡充する方策を模索してはどうか。

市長 学校3部制の第2部を市民に担ってもらいたい考えは同じだが、学校によって実施委員会の事情は様々だ。教育委員会としっかり連携しながら、今後の一定の方向性を考えたい。

議員 三鷹の森学園では、小学生ソフトバレーをしていた子どもたちが、中・高校生になって教えるに来てくれ、大学生になって三中バレー部のコーチをしてくれている。市長部局と教育委

議員 学校を核としたコミュニティづくり、学校3部制に向けたモデル事業に大いに期待する。毎日型の地域子どもクラブを、学校の長期休業中も地域で運営するには限界があるが、民間委託により地域の関わりが希薄になることを懸念する。地域と民間とのバランスが重要だ。所見を問う。

子ども政策部長 地域の実施委員会だけでは不足する部分は、民間の力を借りながら、地域の主体性を確保することが重要である。

議員 卒業生の保護者等をうまく取り込めば、民間に頼らず実施委員会でもかなり賄えると考ええる。まずは地域協力者を拡充する方策を模索してはどうか。

市長 学校3部制の第2部を市民に担ってもらいたい考えは同じだが、学校によって実施委員会の事情は様々だ。教育委員会としっかり連携しながら、今後の一定の方向性を考えたい。

議員 三鷹の森学園では、小学生ソフトバレーをしていた子どもたちが、中・高校生になって教えるに来てくれ、大学生になって三中バレー部のコーチをしてくれている。市長部局と教育委

議員 学校を核としたコミュニティづくり、学校3部制に向けたモデル事業に大いに期待する。毎日型の地域子どもクラブを、学校の長期休業中も地域で運営するには限界があるが、民間委託により地域の関わりが希薄になることを懸念する。地域と民間とのバランスが重要だ。所見を問う。

子ども政策部長 地域の実施委員会だけでは不足する部分は、民間の力を借りながら、地域の主体性を確保することが重要である。

議員 卒業生の保護者等をうまく取り込めば、民間に頼らず実施委員会でもかなり賄えると考ええる。まずは地域協力者を拡充する方策を模索してはどうか。

市長 学校3部制の第2部を市民に担ってもらいたい考えは同じだが、学校によって実施委員会の事情は様々だ。教育委員会としっかり連携しながら、今後の一定の方向性を考えたい。

議員 三鷹の森学園では、小学生ソフトバレーをしていた子どもたちが、中・高校生になって教えるに来てくれ、大学生になって三中バレー部のコーチをしてくれている。市長部局と教育委

議員 学校を核としたコミュニティづくり、学校3部制に向けたモデル事業に大いに期待する。毎日型の地域子どもクラブを、学校の長期休業中も地域で運営するには限界があるが、民間委託により地域の関わりが希薄になることを懸念する。地域と民間とのバランスが重要だ。所見を問う。

子ども政策部長 地域の実施委員会だけでは不足する部分は、民間の力を借りながら、地域の主体性を確保することが重要である。

議員 卒業生の保護者等をうまく取り込めば、民間に頼らず実施委員会でもかなり賄えると考ええる。まずは地域協力者を拡充する方策を模索してはどうか。

市長 学校3部制の第2部を市民に担ってもらいたい考えは同じだが、学校によって実施委員会の事情は様々だ。教育委員会としっかり連携しながら、今後の一定の方向性を考えたい。

議員 三鷹の森学園では、小学生ソフトバレーをしていた子どもたちが、中・高校生になって教えるに来てくれ、大学生になって三中バレー部のコーチをしてくれている。市長部局と教育委

議員 学校を核としたコミュニティづくり、学校3部制に向けたモデル事業に大いに期待する。毎日型の地域子どもクラブを、学校の長期休業中も地域で運営するには限界があるが、民間委託により地域の関わりが希薄になることを懸念する。地域と民間とのバランスが重要だ。所見を問う。

子ども政策部長 地域の実施委員会だけでは不足する部分は、民間の力を借りながら、地域の主体性を確保することが重要である。

議員 卒業生の保護者等をうまく取り込めば、民間に頼らず実施委員会でもかなり賄えると考ええる。まずは地域協力者を拡充する方策を模索してはどうか。

市長 学校3部制の第2部を市民に担ってもらいたい考えは同じだが、学校によって実施委員会の事情は様々だ。教育委員会としっかり連携しながら、今後の一定の方向性を考えたい。

議員 三鷹の森学園では、小学生ソフトバレーをしていた子どもたちが、中・高校生になって教えるに来てくれ、大学生になって三中バレー部のコーチをしてくれている。市長部局と教育委

議員 学校を核としたコミュニティづくり、学校3部制に向けたモデル事業に大いに期待する。毎日型の地域子どもクラブを、学校の長期休業中も地域で運営するには限界があるが、民間委託により地域の関わりが希薄になることを懸念する。地域と民間とのバランスが重要だ。所見を問う。

子ども政策部長 地域の実施委員会だけでは不足する部分は、民間の力を借りながら、地域の主体性を確保することが重要である。

議員 卒業生の保護者等をうまく取り込めば、民間に頼らず実施委員会でもかなり賄えると考ええる。まずは地域協力者を拡充する方策を模索してはどうか。

市長 学校3部制の第2部を市民に担ってもらいたい考えは同じだが、学校によって実施委員会の事情は様々だ。教育委員会としっかり連携しながら、今後の一定の方向性を考えたい。

議員 三鷹の森学園では、小学生ソフトバレーをしていた子どもたちが、中・高校生になって教えるに来てくれ、大学生になって三中バレー部のコーチをしてくれている。市長部局と教育委

議員 学校を核としたコミュニティづくり、学校3部制に向けたモデル事業に大いに期待する。毎日型の地域子どもクラブを、学校の長期休業中も地域で運営するには限界があるが、民間委託により地域の関わりが希薄になることを懸念する。地域と民間とのバランスが重要だ。所見を問う。

子ども政策部長 地域の実施委員会だけでは不足する部分は、民間の力を借りながら、地域の主体性を確保することが重要である。

議員 卒業生の保護者等をうまく取り込めば、民間に頼らず実施委員会でもかなり賄えると考ええる。まずは地域協力者を拡充する方策を模索してはどうか。

市長 学校3部制の第2部を市民に担ってもらいたい考えは同じだが、学校によって実施委員会の事情は様々だ。教育委員会としっかり連携しながら、今後の一定の方向性を考えたい。

議員 三鷹の森学園では、小学生ソフトバレーをしていた子どもたちが、中・高校生になって教えるに来てくれ、大学生になって三中バレー部のコーチをしてくれている。市長部局と教育委

議員 学校を核としたコミュニティづくり、学校3部制に向けたモデル事業に大いに期待する。毎日型の地域子どもクラブを、学校の長期休業中も地域で運営するには限界があるが、民間委託により地域の関わりが希薄になることを懸念する。地域と民間とのバランスが重要だ。所見を問う。

子ども政策部長 地域の実施委員会だけでは不足する部分は、民間の力を借りながら、地域の主体性を確保することが重要である。

議員 卒業生の保護者等をうまく取り込めば、民間に頼らず実施委員会でもかなり賄えると考ええる。まずは地域協力者を拡充する方策を模索してはどうか。

市長 学校3部制の第2部を市民に担ってもらいたい考えは同じだが、学校によって実施委員会の事情は様々だ。教育委員会としっかり連携しながら、今後の一定の方向性を考えたい。

議員 三鷹の森学園では、小学生ソフトバレーをしていた子どもたちが、中・高校生になって教えるに来てくれ、大学生になって三中バレー部のコーチをしてくれている。市長部局と教育委

議員 学校を核としたコミュニティづくり、学校3部制に向けたモデル事業に大いに期待する。毎日型の地域子どもクラブを、学校の長期休業中も地域で運営するには限界があるが、民間委託により地域の関わりが希薄になることを懸念する。地域と民間とのバランスが重要だ。所見を問う。

子ども政策部長 地域の実施委員会だけでは不足する部分は、民間の力を借りながら、地域の主体性を確保することが重要である。

議員 卒業生の保護者等をうまく取り込めば、民間に頼らず実施委員会でもかなり賄えると考ええる。まずは地域協力者を拡充する方策を模索してはどうか。

市長 学校3部制の第2部を市民に担ってもらいたい考えは同じだが、学校によって実施委員会の事情は様々だ。教育委員会としっかり連携しながら、今後の一定の方向性を考えたい。

議員 三鷹の森学園では、小学生ソフトバレーをしていた子どもたちが、中・高校生になって教えるに来てくれ、大学生になって三中バレー部のコーチをしてくれている。市長部局と教育委

議員 学校を核としたコミュニティづくり、学校3部制に向けたモデル事業に大いに期待する。毎日型の地域子どもクラブを、学校の長期休業中も地域で運営するには限界があるが、民間委託により地域の関わりが希薄になることを懸念する。地域と民間とのバランスが重要だ。所見を問う。

子ども政策部長 地域の実施委員会だけでは不足する部分は、民間の力を借りながら、地域の主体性を確保することが重要である。

議員 卒業生の保護者等をうまく取り込めば、民間に頼らず実施委員会でもかなり賄えると考ええる。まずは地域協力者を拡充する方策を模索してはどうか。

市長 学校3部制の第2部を市民に担ってもらいたい考えは同じだが、学校によって実施委員会の事情は様々だ。教育委員会としっかり連携しながら、今後の一定の方向性を考えたい。

議員 三鷹の森学園では、小学生ソフトバレーをしていた子どもたちが、中・高校生になって教えるに来てくれ、大学生になって三中バレー部のコーチをしてくれている。市長部局と教育委

議員 学校を核としたコミュニティづくり、学校3部制に向けたモデル事業に大いに期待する。毎日型の地域子どもクラブを、学校の長期休業中も地域で運営するには限界があるが、民間委託により地域の関わりが希薄になることを懸念する。地域と民間とのバランスが重要だ。所見を問う。

子ども政策部長 地域の実施委員会だけでは不足する部分は、民間の力を借りながら、地域の主体性を確保することが重要である。

議員 卒業生の保護者等をうまく取り込めば、民間に頼らず実施委員会でもかなり賄えると考ええる。まずは地域協力者を拡充する方策を模索してはどうか。

市長 学校3部制の第2部を市民に担ってもらいたい考えは同じだが、学校によって実施委員会の事情は様々だ。教育委員会としっかり連携しながら、今後の一定の方向性を考えたい。

<

員会が連携し、子どもたちが地域に戻ってくる流れづくりに取り組むべきだ。

教育長 お兄さんお姉さんという斜めの関係も強化し循環することは理想的だ。

都市再生についてなど



日本維新の会
吉沼 徳人 幹事長

ふるさと納税による減収への対策強化に努めよ



議員 ふるさと納税による市税への影響は市の財政運営を直撃する大きな課題だ。本市では返礼品の拡充やデジタル広告の活用等検討しているが、今後のふるさと納税の方向性を伺う。

企画部長 ふるさと納税の影響を周知しつつ、インターネット検索サイトで検索履歴とひもづけた広告を表示する等、創意工夫を凝らして財源確保に取り組む。

《その他の質問》 市民参加でまちづくり協議会についてなど



都民ファーストの会
山田さとみ 幹事長

市民目線に立ちニーズに即した市政運営を



議員 三鷹駅前再開発に当たり、市民の買物ニーズを把握するマーケティング調査を実施すべきだ。

都市再生部調整担当部長 ニーズ把握に努めることも、商店会と連携し買物環境整備を検討したい。



つなぐ三鷹の会
成田ちひろ 幹事長

子育て支援サイトを改善して安心の子育て環境へ



議員 リニューアルし1年が経過した子育て支援サイト「みたかきずなナビ」の今後の展望について伺う。

市長 サイト及びアプリの更なる周知と掲載情報の充実に取り組んでいく。

議員 画像の活用や、魅力あるコンテンツづくりを検討することが必要だ。

子ども政策部長 視覚的な情報を取り入れ、内容のブラッシュアップに努める。

《その他の質問》 イベントのオンライン参加／基金の積み立てについてなど

一般質問

2月27日、28日、3月1日の本会議で、17人の議員が市政全般について一般質問を行いました。要旨は次のとおりです。



民主緑風会
小幡 和仁 議員



自宅療養者支援の遅れを検証せよ

《答》 今後は都との適切な情報連携により迅速な支援に取り組む

議員 コロナ発生1年後に感染拡大した際、個人情報保護の理由で市は都から情報を得られず自宅療養者向けサービスを開始できなかった。今後も同様の理由で市民の命と暮らしを守れない事態が想定されるのか。

市長 当時は都と連携する仕組みがなかったが、その後の法改正等で都から個人情報提供が受けられる体制となっている。

議員 より早い段階で市が独自に感染者情報を収集し支援が必要な市民のための窓口を設置できたはずだ。

市長 当初、都がフォロアップセンターを設置したこともあり、市の窓口は設けなかった。その後の感染再拡大に対応し、まずは食料品配送の対応から取り組んだ。

議員 23区等で給食費無償化の動きが進む中で、本市は無償化の優先順位は低いと考えているのか。

市長 23区のように特別な財源があるわけではない。食に困難を抱える子どもへの支援の必要性がある一方、諸経費を含め20億円かかる給食に関する支出を固定化する是非など、全体的に考えなければならない。

議員 町会・自治会の運営に口を出さない市の姿勢は理解するが、年々加入率が低下している状況は看過できず支援を拡充すべきだ。

生活環境部長 地域のニーズに合わせて柔軟に活動する団体の事例を共有するとともに、行政も含めた対話を密にし、団体の主体性を大切にした有効な支援ができるよう検討を進める。



民主緑風会
谷口 敏也 議員



在宅子育て家庭への支援の拡充を

《答》 私立保育園とも連携し相談事業の拡充を検討する

議員 本市を管轄する新たな児童相談所、多摩中部児童相談所(仮称)が設置される予定だ。市内に誘致すべきと考える。所見を伺う。

市長 都からは設置場所等について幅広に検討していきたいとの回答があった。

今後、都から提供される設置場所に係る情報の内容を踏まえ市内に誘致するか否かを含め検討していく。

議員 保育園での一時保育や育児相談等の需要が高まっている。一時保育や相談事業を実施する園を拡充すべきだ。所見を伺う。

子ども政策部長 子育て支援の充実がますます重要に認識し、ワクチン接種の補助制度を創設すべきだ。

健康福祉部長 成人の90%以上が帯状疱疹ウイルスを体内に有し、50歳以上で発症頻度が高まるものと認識している。ワクチン費用の助成については国の動向や近隣市区の状況等を踏まえながら検討していきたい。



現在三鷹市を管轄する杉並児童相談所



日本共産党
紫野あすか 議員



三鷹駅ホームの早急な安全対策を

《答》 引き続きJR東日本にホームドアの早期設置の要望等していきたい

議員 人権や個人の尊厳が大切にされる社会の土台を築くため、科学や人権に基づく国際水準の性教育である包括的性教育が必要と考える。所見を伺う。

教育長 現在、学校では人権尊重や発達段階に応じた性の理解、適切な意思決定などを指導している。今後慎重に検討し、対応を図っていく。

議員 教える側の学びも重要だ。まずは先生方に包括的性教育を学んでもらう機会をつくってもらいたい。

総合教育政策担当部長 海外の多くの国で包括的性教育が進められていることは承知している。手法などを研究していきたい。

議員 JR東日本は転落事故等防止のためのホームドアを2031年度までに首都圏在来線の30駅に設置予定だ。進捗状況を伺う。

市長 ホームドアは転落事故防止のための重要な設備と認識しているが、この間、山手線等を中心に整備が行われ、中央線には現在設置されていない状況だ。



日本共産党
前田 まい 議員

ESAT-J入試活用に応用抗議する

《答》 英語4技能の習得状況を測るテストの適切な活用を都教委に求めていく

議員 市内の商店会から、閉店や建物取り壊しの際に街路灯の移設や撤去を求められるが、その費用負担が過大だという声を聞く。市で支援を検討できないか。

市長 商店会街路灯の課題は認識しており、時代に合った支援策を検討したい。

議員 新型コロナウイルス感染症の蔓延や物価高騰の中で様々な給付金や生活支援事業が展開された。事業を振り返り、職員体制や市民対応はどうだったか。

健康福祉部調整担当部長 各種臨時事業が同時期に重なったこともあり、市、委託事業者ともに経験のある人財確保が課題となった。

議員 英語スピーキングテスト(ESAT-J)の実施後、都議会議員連盟と保護者の会が行ったアンケートで、回答の約500件のうち106件のトラブル報告があった。市教育委員会では実施状況調査を行ったか。

総合教育政策担当部長 学校を通して調査し、特段のトラブル報告はなかった。

議員 様々な不備が明らかになったESAT-Jは英語を話す力を測る制度とは言えない。都教育委員会に、都立高入試への活用中止を申し入れるよう強く求める。

教育長 6月の質問直後、都教委に説明責任を果たすよう申し入れ、対応が図られた。今後の検証も見ながら改善を促していく。



日本共産党
栗原けんじ 議員

三鷹の水源をPFAS汚染から守れ

《答》 都の地下水調査等の状況を注視し市民の安全安心の確保に努める

議員 アメリカの環境保護庁が発がん性等の可能性を

指摘する有機フッ素化合物(PFAS)が多摩地域で水道水に使われる井戸から広く検出されている。原因究明について所見を伺う。

市長 都に確認したが、汚染源は特定できていないとのことだ。市としても継続的な情報収集に努める。

議員 本市の検出量は少ないが、調布、小金井、府中では高濃度で検出されているのはなぜか。健康被害が出てからでは遅い。国や都の対応を待たず市として積極的に行動するべきだ。

都市整備部長 行政域を越えて流れる地下水を市で単独調査することは難しい。都の水質管理や継続的な観

測状況を注視しながら、多摩の他市とも連携し必要に応じて適切に対応したい。

議員 PFASの健康被害への不安が広がり、多摩地域の住民による自主的な血液検査が行われている。市民への影響を確認し不安を解消するためにも、市で血中濃度検査を実施する必要があるのではないかと。

生活環境部長 現在、国において最新の科学的知見と検出状況の評価を行い、PFASに対する総合的な対応を検討している。現時点で血中濃度検査を行う予定はないが、知見の集積に努め、市民の問い合わせに適切に対応していきたい。



いのちが大事
伊沢けい子 議員



市役所本庁舎の食堂をつぶさないで

答 さんさん館の食堂や新たな休憩室が市民に広く利用されるよう取り組む

議員 本庁舎地下1階にあった食堂の場所が会議室に転用されることになり、食堂はさんさん館2階に移転した。本庁舎からさんさん館への連絡路には階段があり、車椅子利用者は大変な遠回りをしなければならぬ。それでよいのか。

総務部長 使いにくい部分は承知しており、今後何らかの対応を検討したい。

議員 市民から、食堂はどこにいったしまったのか、どうして移転したのかという戸惑いや不満の声が上がっている。事前に市民や職員の声を聴いたのか。

総務部長 食堂の事業自体は継続していることから、



公会堂さんさん館2階にある食堂

市長 市民のための行政サービスを適切に提供するために従来の食堂スペースは会議室等として有効に活用する予定だ。市民のための市庁舎という認識は同じで、引き続き市民サービスの充実に取り組んでいく。



いのちが大事
野村 羊子 議員



65歳以上の障がい者支援の充実を

答 介護保険制度での不足分を、障がい福祉サービスで補い柔軟に対応する

議員 障がい者が65歳になると介護保険が優先され、障がい福祉サービスが減らされるケースが多い。障がい福祉サービスの支給決定基準を公開すべきだ。

健康福祉部長 近隣市の状況や公開することに伴う影響を踏まえて検討したい。

議員 障がい者が合理的配慮に基づき、いつまでも自律した生活ができるための支援について見解を伺う。

健康福祉部長 関係部署と連携し、介護保険のみでは不足するサービスが提供できるよう対応している。

議員 循環型社会を目指して、段ボールコンポストの

普及促進を進めるべきだ。

生活環境部長 普及に向けた市民活動等との協働連携や支援について検討する。

議員 東京外環道のシールド工法による掘削工事に当たり、事業者は空気の注入量の管理を行っているか。

都市再生部長 気泡の体積等も含めた排土管理を行っている」と聞いている。

議員 シールド工法では界面活性剤が使用されている。工事用地周辺の水道水源の水位や水質管理についてチェックできているか。

都市再生部長 都ホームページ等を確認しており、工事後も状況を注視したい。



いのちが大事
嶋崎 英治 議員



PFASによる健康被害対策は急務だ

答 水道水の安全性を継続的に確認するとともに都の動向も注視していく

議員 多摩地区の飲料用井戸水が発がん性が疑われる有機フッ素化合物(PFAS)に汚染されている。どのように認識しているか。

市長 本市における各給水所で取水する水源井戸では暫定目標値を上回る数値は検出されていないが、市民

から転入してきた市民が血液検査を求めてきた場合の対応について伺う。

生活環境部長 現時点で市が血液検査を実施することは考えていない。市民から要望があれば不安を取り除くことに注力していく。

議員 沖縄や神奈川県では米軍基地が使用した泡消火剤

が垂れ流れ、河川や地下水を汚染したことが明らかになった。都知事に対して米軍横田基地への立ち入り調査を申し入れすべきだ。

都市整備部長 都に申し入れを行うことは考えていない。都や周辺自治体と連携し、水質の安全を確保することが優先と考える。



令和山桜会
池田 有也 議員



子育ての負担を緩和する支援拡充を

答 時代のニーズを確認し、使いやすい支援メニューの提供に努めていく

議員 政府は令和5年4月に発足することも家庭庁を中心に、3歳未満の約6割を占める未就園児を抱える家庭への支援を拡充しようとしている。国の動向をどう分析し対応していくか。

市長 身近に相談者もなく孤立しやすい家庭も多いことから、国の新たな支援策に前向きに取り組みたい。

議員 未就園児の子育てに悩む親の心理的・体力的負担の軽減に向けてはどのように取り組んでいるか。

市長 妊娠期からの相談を必要とするサービス提供につなげているほか、定期的な育児講座等を実施している。

議員 政府は先行自治体の取り組みを参考に今後の支援策を検討するとしてい

る。本市が先行して取り組む姿勢を示すべきだ。

子ども政策部長 1歳半健診を機に全家庭を対象に行っている継続的な相談事業は、国の視察を受けたこともあり、今後も本市独自の支援策として発信したい。

議員 今後は子育て家庭が地域の高齢者に相談できる場づくりなど、地域ぐるみかつ多世代で子どもを育てていく環境づくりがより重要になるのではないかと。

子ども政策部長 既存の保育園を地域の資源として、多世代交流や相談の場として活用することも考えられる。他自治体の事例等も研究していきたい。

その他の質問 市内道路の歩道整備について



令和山桜会
伊東 光則 議員



SNSの危険性を理解させる教育を

答 犯罪等の加害者・被害者にならないために学校教育全般で指導している

議員 特殊詐欺や組織的な強盗事件の報道に不安を募らせる市民が多いと推察する。市内の犯罪の発生状況と対策等について伺う。

市長 約7割が自転車盗や万引き等の窃盗犯であり、市民や事業者との協働によるパトロールを推進し犯罪抑止に取り組んでいる。

議員 迷惑行為のSNS動画投稿は、悪ふざけと犯罪の区別がつきにくくなっていくものと考ええる。小・中学校で、加害者にならないための教育も必要だ。

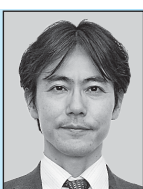
教育長 SNS投稿等の安全指導や情報モラル教育を推進していく。迷惑行為は承認欲求の現れとも考えられることから、自己肯定感を育む教育を推進したい。

議員 令和4年中の市内の交通事故件数は34件あった。高齢者の自動車運転事故防止に向けた啓発の取り組みについて伺う。

交通ネットワーク推進担当部長 自動車事故を含め昨年市内で65歳以上が関与した事故は全体の36%を占める。高齢者の交通安全セミナーでは身体機能の測定を含めた啓発を行っている。

議員 児童・生徒向けの交通安全指導の内容を伺う。

教育長 小学校では3年生の自転車教室、中学校ではスタントマンによる交通事故の再現を含む交通安全指導を実施している。各学校で毎月安全指導日を設定し、自転車の安全についてなど適切に指導していく。



令和山桜会
後藤 貴光 議員



人との接点を取り戻す市民活動支援を

答 高齢者の社会参加の機会拡充のため活動再開に向けた支援に取り組む

議員 約3年に及ぶコロナ禍で高齢者の生活習慣の変化、人と人とのつながりの希薄化や健康面への悪影響があったと懸念される。今後、コロナの5類への移行で様々な事業を再開するに当たり、よりタイムリーで正確な状況を確認しながら従来の事業内容を見直し、修正しつつ実施していく必要があると考える。市長の所見を伺う。

市長 外出機会の減った高齢者の健康維持と交流機会の確保のために、対面とオンラインを併用した介護予防講座等を実施してきた。

今後関係機関と連携し、地域の実態や現状をしっかりと見守りながら取り組む。

議員 アフターコロナの高齢者の活動を活性化させるためには、コロナに対する漠然とした不安の解消と正確な情報発信が必要だ。

健康福祉部調整担当部長 感染症予防に係るチラシ配布やオンラインツールの操作研修など、安心して活動を行っていただくための支援を行っているっており、引き続き迅速かつ丁寧な対応に努める。

議員 身近な町会・自治会や老人クラブは、家に引きこもってしまった高齢者に

地域との接点をつくる最適な場だ。これらの団体の活動再開に向けた支援について所見を伺う。

生活環境部調整担当部長
感染症防止相談への対応などに配慮しつつ、団体の活動再開を支援していく。



自由民主クラブ
矢野 治重 議員



市民幸福度を向上させる市政運営を

答 市民満足度を数値で可視化・検証し
ウェルビーイングの向上を図りたい

議員 本市は、誰一人として取り残さない持続可能な世界を実現するための国際目標であるSDGsの基本理念を踏まえ、第4次基本計画(第2次改定)を推進している。その取り組み状況について伺う。

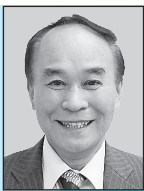
市長 8つの施策と17のゴールを関連づけ横連携を図りながら取り組みを進めてきた。引き続きSDGsの関係性を捉え持続可能なまちづくりにつなげていく。

議員 SDGsを実現するための教育について伺う。

議員 政府が推進するデジタル田園都市国家構想は、デジタル技術を活用し豊かさや幸福感(ウェルビーイング)を実感できるまちづくりを目指すものと認識している。その指標であり、まちの生活環境に関する客観データと市民の幸福感を測る主観データを総合的に評価するリバブル・ウェルビーイング・シティ指標を今後の市政運営に活用する予定について伺う。

議員 行政運営において、多様性をもとに包摂性(インクルージョン)の観点から、市民の幸福度を測る主観データを総合的に評価するリバブル・ウェルビーイング・シティ指標を今後の市政運営に活用する予定について伺う。

議員 政府が推進するデジタル田園都市国家構想は、デジタル技術を活用し豊かさや幸福感(ウェルビーイング)を実感できるまちづくりを目指すものと認識している。その指標であり、まちの生活環境に関する客観データと市民の幸福感を測る主観データを総合的に評価するリバブル・ウェルビーイング・シティ指標を今後の市政運営に活用する予定について伺う。



自由民主クラブ
石井 良司 議員



更なる安全・安心の道路整備を進めよ

答 職員の増員が困難な中、民間委託による道路維持管理は重要なヒントだ

議員 本市の都市計画道路の整備率は低い。近隣市では都道より市道の整備率が高いが、市民協働でまちづくりを進める本市として、逆に市道の方が整備率が低い状況はいかなるものか。

市長 本市が下水道を優先

した経緯もあるが、道路整備が遅れてしまったことは反省すべき点だと考える。

議員 市民の協力も得て生活道路の維持管理等に取り組む点は評価するが職員による対応には限界がある。民間委託で経費削減と成果を両立した府中市の取り組みなどを参考にすべきだ。

市長 他自治体からも学び積極的に対応したい。

議員 市内には狭路で見通しの悪い道路が多く点在し



市内の生活道路整備の様子

事故も多発している。自転車利用者のヘルメット着用努力義務化に係る啓発にはどう取り組んでいくのか。

議員 児童・生徒と保護者を両立した府中市の取り組みなどを参考にすべきだ。

議員 児童・生徒と保護者を両立した府中市の取り組みなどを参考にすべきだ。



公明党
大倉あき子 議員



離婚前後の親子へ寄り添った支援を

答 支援制度を正しく理解してもらうとともに、その周知に努めていく

議員 離婚に伴い子どももの養育費等に苦しんでいる人が少なくない。当事者に寄り添った更なる支援の充実が重要だ。所見を伺う。

議員 児童・生徒と保護者を両立した府中市の取り組みなどを参考にすべきだ。

子ども政策部長 養育費に係る正しい理解の促進や離婚前の取り決め段階からの支援が必要と考える。引き続き相談しやすい窓口の周知と制度の啓発に努める。

議員 面会交流は子どもの最善の利益を優先して考えることが重要だ。面会交流

面会交流は子どもの最善の利益を優先して考えることが重要だ。面会交流

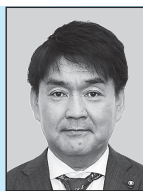
面会交流は子どもの最善の利益を優先して考えることが重要だ。面会交流

組合について所見を伺う。

市長 今後の制度の活用については先行事例の情報収集や研究を行うとともに、地域の課題解決に取り組む他の活動との連携なども含め検討していく。

議員 奨学金の代理返還制度を導入する企業に対し行政が支援制度を創設し、学生と企業と地域社会の活性化を図ることは大変有意義と考える。所見を伺う。

市長 奨学金の返済で一定の役割を担う企業を自治体が支援する、あるいは国が



公明党
柏谷 稔 議員



自転車ヘルメットをどう普及させるか

答 自分の命を守るためのヘルメットの必要性について、更なる周知を図る

議員 自転車事故の致死率は、ヘルメットを着用していない場合は2〜3倍も高いという。ヘルメット着用努力義務化に向けた市民への周知について伺う。

議員 豪雨災害の被害を最小限に抑えるため、気象の専門家である気象防災アドバイザーを活用し、線状降水帯の発生予測と市民への早期情報発信を行うことが有効と考える。所見を伺う。

議員 気象庁との専用ホットラインを活用しているため、同アドバイザーを検討したことはないが、先行自治体での成果等を検証し必要性を検討したい。



つなぐ三鷹の会
成田ちひろ 議員



中学生の自転車・バス通学の検討を

答 生徒と学校、PTA等の意見を聞き、バス通学から検討を始める

議員 ファミリー・サポート・センターで子どもを預けられない場合に、ベビーシッターを利用したくても対象は保育園の待機児童の保護者に限定されている。保育認定の有無を問わない助成事業を検討すべきだ。

議員 交通機関の利用を学校長が判断する場合、教育委員会から具体的な基準を示しておくことが必要だ。

子ども政策部長 ファミリーサポート事業や保育施設の一時預かりの状況等を見つつ、今後検討していく。

議員 市立中学校の通学に片道30分以上かかる子どもがいるが、自転車やバスの利用は認められていない。

議員 市立中学校の通学に片道30分以上かかる子どもがいるが、自転車やバスの利用は認められていない。

議員 市立中学校の通学に片道30分以上かかる子どもがいるが、自転車やバスの利用は認められていない。



都民ファーストの会
山田さとみ 議員



就学に向けた切れ目のない発達支援を

答 福祉と教育が連携し個々のニーズに合わせた丁寧な支援に取り組みたい

議員 小学校への入学を控えた5歳児の発達支援については、子ども発達支援センターのプログラムの回数を増やし、教育委員会の就学相談と一体的に支援していくべきだ。

議員 動物との共生社会実現に向け、市内公園でドッグランのモデル事業を行うことについて所見を伺う。

議員 動物との共生社会実現に向け、市内公園でドッグランのモデル事業を行うことについて所見を伺う。

議員 動物との共生社会実現に向け、市内公園でドッグランのモデル事業を行うことについて所見を伺う。

議員 動物との共生社会実現に向け、市内公園でドッグランのモデル事業を行うことについて所見を伺う。

議員 動物との共生社会実現に向け、市内公園でドッグランのモデル事業を行うことについて所見を伺う。

議員 動物との共生社会実現に向け、市内公園でドッグランのモデル事業を行うことについて所見を伺う。

議員 動物との共生社会実現に向け、市内公園でドッグランのモデル事業を行うことについて所見を伺う。



つなぐ三鷹の会
成田ちひろ 議員



中学生の自転車・バス通学の検討を

答 生徒と学校、PTA等の意見を聞き、バス通学から検討を始める

議員 ファミリー・サポート・センターで子どもを預けられない場合に、ベビーシッターを利用したくても対象は保育園の待機児童の保護者に限定されている。保育認定の有無を問わない助成事業を検討すべきだ。

議員 交通機関の利用を学校長が判断する場合、教育委員会から具体的な基準を示しておくことが必要だ。

子ども政策部長 ファミリーサポート事業や保育施設の一時預かりの状況等を見つつ、今後検討していく。

議員 市立中学校の通学に片道30分以上かかる子どもがいるが、自転車やバスの利用は認められていない。

議員 市立中学校の通学に片道30分以上かかる子どもがいるが、自転車やバスの利用は認められていない。

議員 市立中学校の通学に片道30分以上かかる子どもがいるが、自転車やバスの利用は認められていない。

令和5年第1回臨時会・第1回定例会審議結果

議案等の名称				議員名	議決結果	令和山桜会	自由民主クラブ	公明党	民主緑風会	日本共産党	いのちのち	無半田	維吉沼	都山田	つ成田	賛成	反対	議決月日																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
						池田有也(自)	渥美典尚(無)	伊東光則(無)	土屋けんいち(自)	後藤貴光(無)	伊藤俊明(自)	穴戸治重(無)	吉野和之(自)	石井良司(自)	寺井均(公)				赤松大一(公)	大倉あき子(公)	粕谷稔(公)	岩見大三(立)	小幡和仁(立)	高谷真一朗(立)	谷口敏也(立)	大城美幸(共)	紫野あすか(共)	前田まい(共)	栗原けんじ(共)	嶋崎英治(無)	野村羊子(無)	伊沢けい子(無)	無半田伸明(無)	維吉沼徳人(維)	都山田さとみ(都)	つ成田ちひろ(無)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
第1回臨時会	市長提出議案	補正予算	令和4年度三鷹市一般会計補正予算（第8号）	可																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			

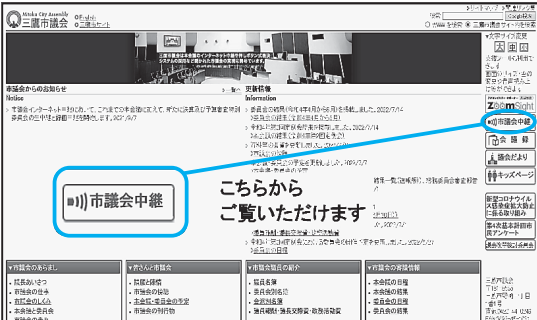
※ 党派名の略称は次のとおり
※ 議員名の下括弧は党派名。略称は次のとおり
※ 議決結果欄の意味はそれぞれ次のとおり
※ 議員氏名欄の意味はそれぞれ次のとおり
※ 討論の様子については、市議会ホームページ(下記参照)の市議会中継(録画中継)でご覧になれます。
(注) 可否同数のため、議長裁決

本会議と予算・決算審査特別委員会のインターネット配信を行っています

https://www.gikai.city.mitaka.tokyo.jp/

三鷹市議会では、インターネットによる本会議と予算・決算審査特別委員会の生中継及び録画中継の配信を行っています。生中継については、原則としてその日の会議が始まる10分前から開始し、会議が終了するまでの間、また、録画中継については、原則として本会議または委員会を開催した日の翌々日の午前10時(ただし、土曜日、日曜日及び国民の祝日等を除きます)から開始し、当該本会議録または委員会記録が完成するまでの間、それぞれご覧いただくことができます。

令和5年第1回定例会の代表質疑・一般質問の模様は4～7面の各議員タイトル欄のQRコードからご覧いただくことができます。



※QRコードは(株)デンソーウェブの登録商標です。

〈みたか議会だよりに関するお問い合わせ〉三鷹市議会事務局 電話 0422(44)0249 FAX 0422(45)1031

「みたか議会だより」は三鷹市シルバー人材センター会員がお届けしています。 ⇨シルバー人材センター ☎ 0422(48)6721